

同じことを述べるとはどんなことか——ウィトゲンシュタイン哲学における「ヘーゲル的な場面」

What does it mean to speak of the same thing? ——The “Hegelian scene” in Wittgenstein’s philosophy

槇野 沙央理 (Saori MAKINO)

morerain19@gmail.com

後期ウィトゲンシュタイン哲学に倣うなら、言葉の意味は、その都度得られることだと言える。特定の言葉が、音ないし文字の連なりから分節化され、その言葉を取り囲む環境を伴って立ち現れる。いわば、言葉の意味は、その都度ごとに固有の仕方で得られる。このことは、「証明」、「数」、「列」、「順序」(LFM 1976, p. 14) といった数学の基礎をめぐる言葉にも当てはまる。これらは、市井の人々の生活において用いられる言葉であり、その都度の意味生成をもつ。それにも拘わらず、私たちは、これらには何か自分たちが従うべき強力な規則があると措定しがちである。その都度ごとに固有の仕方で意味をなす言葉に対して、私たちは、固有の仕方を見過ごさせるような、同一性の概念を暗黙裡に持ち込んでしまうのだ。

私たちが何の解明も必要としないと思込みがちな、「同じことを述べる」ということは、実は、私たちが何らかの規則や同一性を持ち込むことでなされている。このことを省みるため、そして、それら規則や同一性を暗黙理に持ち込むのでなく、随意に行えるようにするため、本発表では、ウィトゲンシュタイン哲学におけるある特徴的な場面に着目したい。

ある特徴的な場面とは、以下のような箇所のことである。

ヘーゲルは、異なるように見える物事が本当は同じなのだと常に言いたいように私には見える。他方、私の関心は、同じに見える物事が本当は異なるのだということを示すことにある。(MDC 1981, p. 157)

どのような種類の誤解について私は話しているのか。その誤解は、言語において非常に異なる機能をもっている諸表現を同一視してしまう傾向から生じてくる。我々は「数」という言葉を、ある一定のアナロジーに導かれて、多くの異なるケースにおいて使用する。我々は、非常に異なる物事を同じ図式で語ろうとするのである。

これは部分的には経済性の問題である。また我々は、「これらすべてのものは、同じように見えるけれども、本当は異なっている」と言いたくなる傾向よりも遥かに、「これらすべてのものは、異なって見えるけれども、本当は同じである」と言いたくなる傾向をもっている。この点で我々は未開人のようなのである。したがって私は、物事の中に普通は類似性が強調されるところでも、それらの間の違いを強調せねばならないだろう。ただ、それもまた誤解へと導くことがありうるのだが。(LFM 1976, p. 15 下線強調は引用者)

一つ目の引用は、精神分析家 M. O'C. ドゥルーリーによる、1948 年の秋になされたとされる、ウィトゲンシュタインとの会話の記録による。ここではウィトゲンシュタインが、ヘーゲルと自身とを対照させることで、自身の哲学のありようを印象深く語っている。二つ目の引用は、ウィトゲンシュタインの晩年の講義録『ウィトゲンシュタインの講義 数学の基礎篇 ケンブリッジ 1939 年』による。これは、ウィトゲンシュタイン研究者の C. ダイヤモンドが、ウィトゲンシュタインの学生四人のノートを編集・出版したものである。ここでは、ドゥルーリーとの会話と非常に似た話（とりわけ私が強調した下線部）が繰り返されている。

上記のように、ウィトゲンシュタインがある傾向に逆らって対照的な見方を打ち出そうとする場面、とりわけ、「同じに見える物事が本当は異なる」ということを訴える場面を、「ヘーゲル的な場面」と呼ぶことにしよう。発表者は、「ヘーゲル的な場面」が、言葉の意味をその都度ごと固有の仕方で検討しようとすることを困難にする妨げを取り除くものであることを考察したい。「ヘーゲル的な場面」は、私たちが、言葉の意味を、何らかの規則ないし同一性の概念を持ち込むことで検討したことにしてしまおうとするとき、自身の振る舞いに自覚的となるために役立つことを示したい。

## 参考文献

M. O'C. Drury. "Conversations with Wittgenstein". In: *Recollections of Wittgenstein*, S. 112–189. Hg. von R. Rhees. Oxford: Basil Blackwell. [MDC 1981]

*Wittgenstein's Lectures on the Foundations of Mathematics: Cambridge, 1939*. Hg. von Cora Diamond. Ithaca, USA: Cornell University Press. [LFM 1976]